

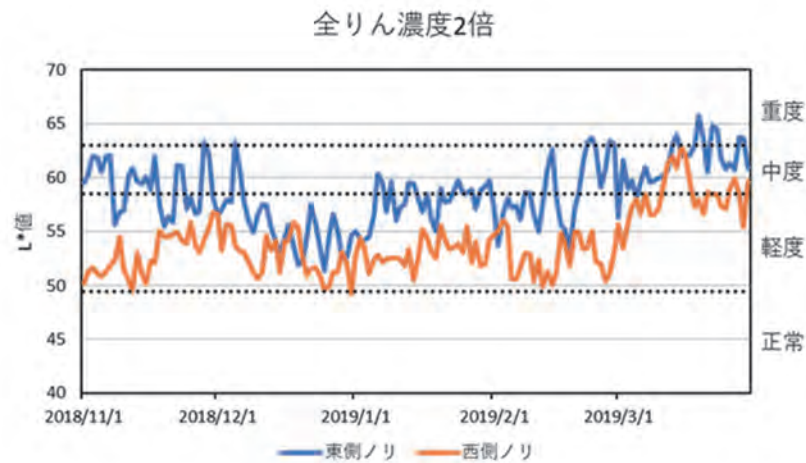


図 8 養殖ノリの L*値の経時変化（全りん濃度 2 倍ケース）

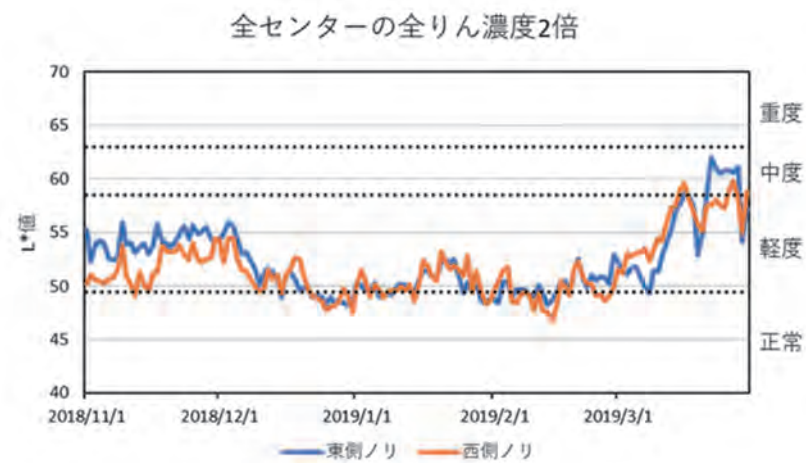


図 9 養殖ノリの L*値の経時変化（全センターの全りん濃度 2 倍ケース）

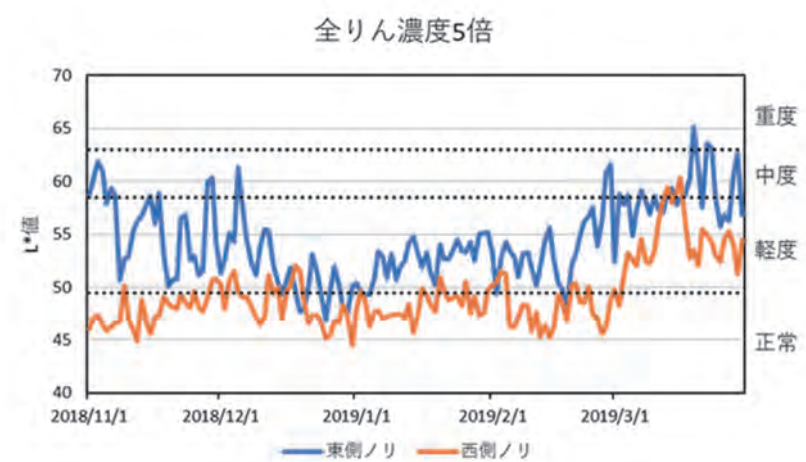


図 10 養殖ノリの L*値の経時変化（全りん濃度 5 倍ケース）

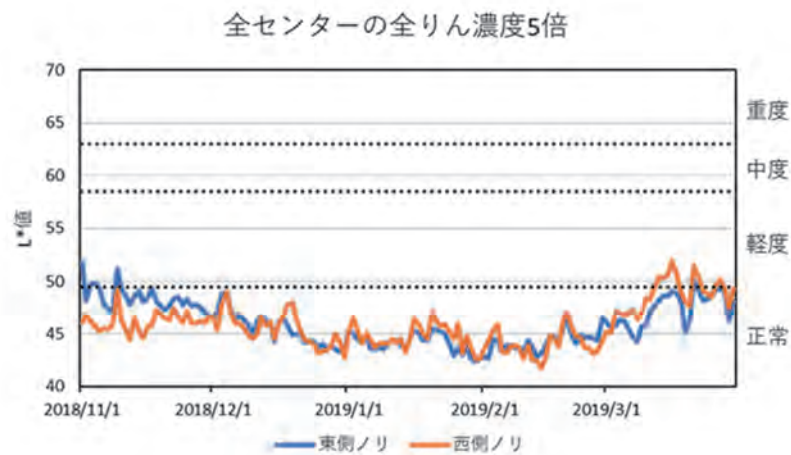


図 11 養殖ノリの L*値の経時変化（全センターの全りん濃度 5 倍ケース）

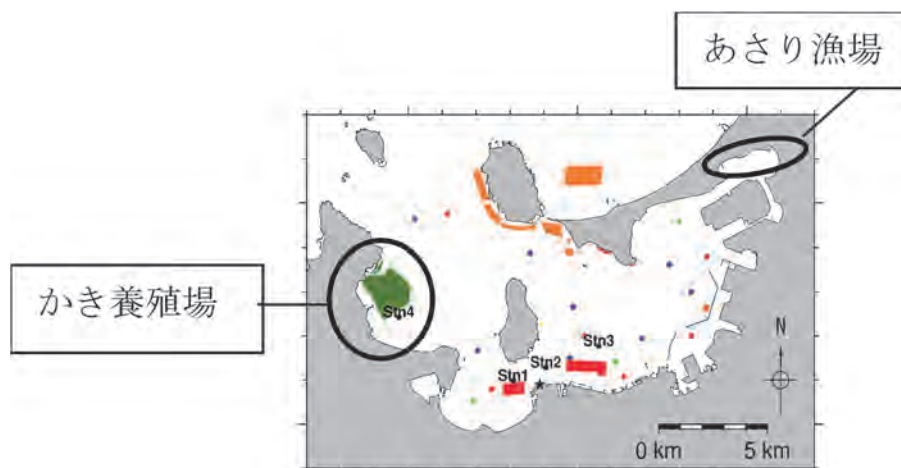


図 12 アサリ漁場およびカキ養殖場の位置関係

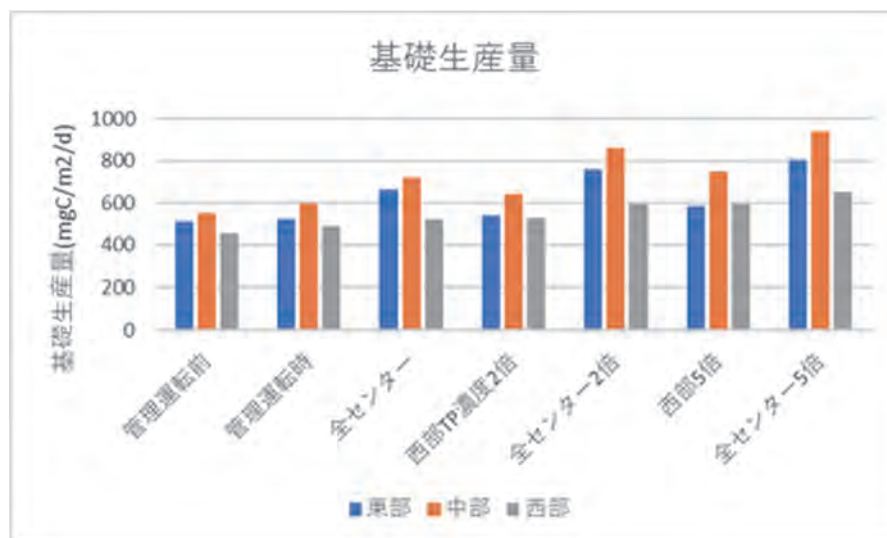


図 13 管理運転時の面積当たりの基礎生産量（11 月から 3 月の平均値）

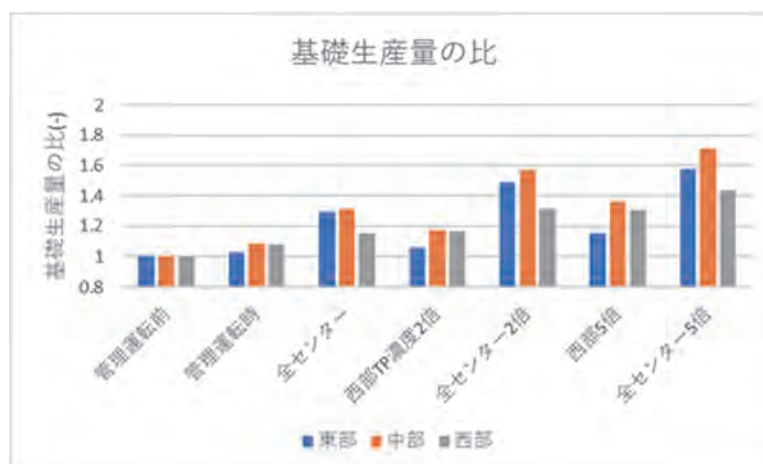


図 14 基礎生産量の管理運転前に対する比（11月から3月の平均値）

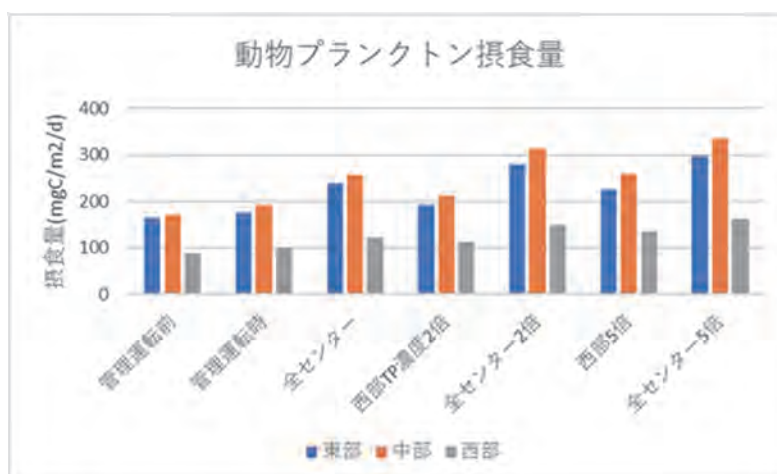


図 15 管理運転時の面積当たりの動物プランクトンの摂食量（11月から3月の平均値）

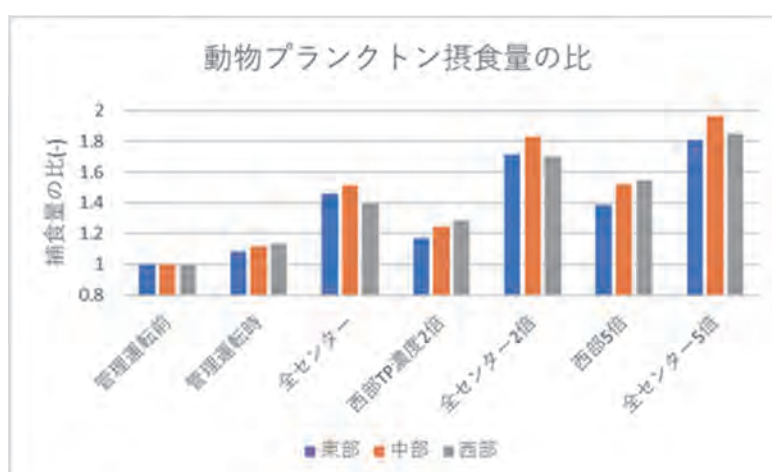


図 16 動物プランクトン摂食量の管理運転前に対する比（11月から3月の平均値）

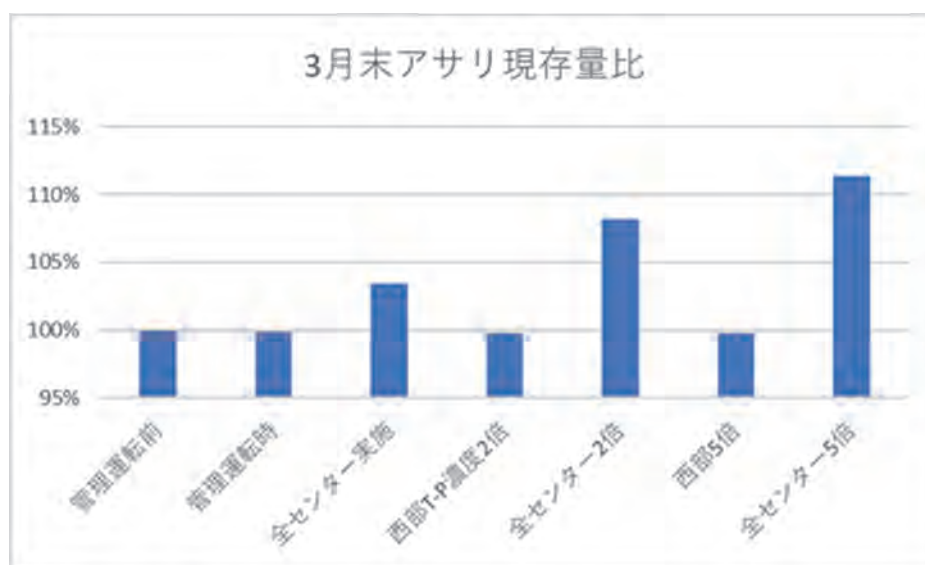


図 17 計算終了時のアサリ現存量比の比較

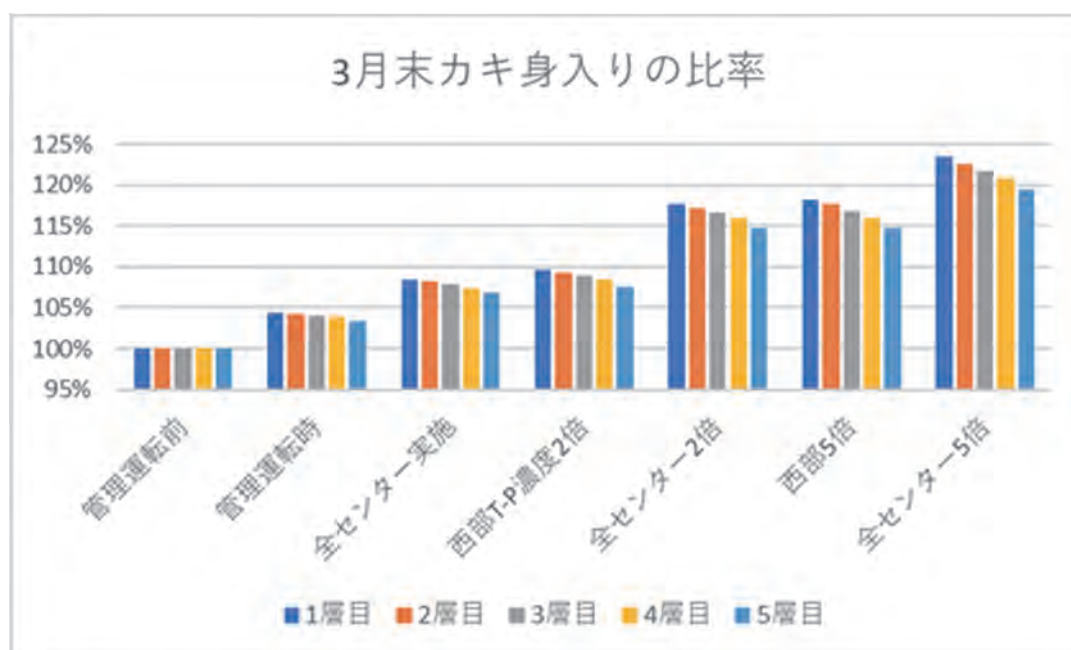


図 18 計算終了時のカキ現存量（身入り）比の比較

表 4 検討委員会の開催実績と参加者

検討委員会	日時	場所または開催形式	参加委員
第1回	令和2年11月11日(水) 14:00～16:30	三会堂ビル 8 階 (東京都赤坂) (一社)全国水産技術 協会会議室	・ 松田治 (広島大学名誉教授) ・ 鈴木輝明 (名城大学特任教授) ・ 中田喜三郎 (名城大学特任教授) ・ 反田實 (兵庫県立農林水産技術センター技術参事) ・ 山田久 (元水産総合研究センター中央研究所長)
第2回	令和3年2月16日(火) 14:00～16:30	WEB形式	同上

Ⅲ. 令和２年度
栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査
事業検討会

令和2年度漁場環境改善推進事業
「栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発」のうち
「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」第1回事業検討会

開催日時： 令和2年5月26日(火)～6月15日(月)

開催方法： メール会議による

外部検討委員：藤原建紀（京都大学名誉教授）、多田邦尚（香川大学）

【開催スケジュール】

- 5月26日（火） 検討委員、水産庁、課題担当機関代表者宛に資料を送付するとともに、質問・コメント票（簡単な様式を作成）を送付し、返送を依頼（6月1日（月）提出期限）
- 6月2日（火） 関係機関に質問・コメントに対する回答を依頼（6月5日（金）提出期限）
- 6月8日（月） 議事録案（質問・コメントに対する回答を含む）を検討委員、水産庁、課題担当機関代表者に送付し、内容確認を依頼
検討委員には簡単な講評の作成を依頼
- 6月15日（月） 実績報告書を作成し、検討委員に確認書を送付

【令和2年度実施計画案の検討】

・事業計画

・課題別計画

1) 栄養塩等の水質環境が沿岸海域の漁業生産に及ぼす影響の解明

ア. 栄養塩等の水質環境が二枚貝等の餌となる底生性の微細藻類に及ぼす影響の解明

瀬戸内海区水産研究所・香川大学

イ. 栄養塩等の水質環境が二枚貝の生産力に及ぼす影響の解明

① 播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響の解明

兵庫県水産技術センター

② 紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明

和歌山県水産試験場

③ 瀬戸内海の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響の評価

瀬戸内海区水産研究所

ウ. 栄養塩等の水質環境が藻場の生物生産力等に及ぼす影響の解明

瀬戸内海区水産研究所

エ. 栄養塩等の水質環境が植物プランクトン等の低次生産に及ぼす影響の解明

瀬戸内海区水産研究所

2) 栄養塩等の水質環境が小型魚類の生産量に及ぼす影響の解明

ア. 栄養塩等の水質環境が小型魚類の餌料環境に及ぼす影響解明

東北区水産研究所・愛媛大学・瀬戸内海区水産研究所

イ. 水質環境や餌料環境と小型魚類生産量との因果関係の評価

瀬戸内海区水産研究所

3) 栄養塩管理方針の検討

全国水産技術者協会

令和2年度漁場環境改善推進事業
「栄養塩・赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発」のうち
「栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」第2回事業検討会

開催日時： 令和3年1月29日（金） 12：30～17：30（Web開催）

外部検討委員：藤原建紀（京都大学名誉教授）、多田邦尚（香川大学）

議 事 次 第

1. 開会・挨拶

2. 令和2年度事業結果の検討

1) 栄養塩等の水質環境が沿岸海域の漁業生産に及ぼす影響の解明

ア. 栄養塩等の水質環境が二枚貝等の餌となる底生性の微細藻類に及ぼす影響の解明

水産研究・教育機構、香川大学

イ. 栄養塩等の水質環境が二枚貝の生産力に及ぼす影響の解明

① 播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響の解明
兵庫県水産技術センター

② 紀伊水道の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響解明

和歌山県水産試験場

③ 瀬戸内海の栄養塩環境が二枚貝生産に及ぼす影響の評価

水産研究・教育機構

ウ. 栄養塩等の水質環境が藻場の生産生産力に及ぼす影響解明

水産研究・教育機構

エ. 栄養塩等の水質環境が植物プランクトン等の低次生産に及ぼす影響の解明

水産研究・教育機構

2) 栄養塩等の水質環境が小型魚類生産量に及ぼす影響の解明

ア. 栄養塩等の水質環境が小型魚類の餌料環境に及ぼす影響解明

水産研究・教育機構、愛媛大学

イ. 水質環境や餌料環境と小型魚類生産量との因果関係の評価

水産研究・教育機構、香川県水産試験場

3) 栄養塩管理方針の検討

全国水産技術協会

3. 評価委員講評

4. その他・事務連絡

5. 閉会

令和2年度漁場環境改善推進事業のうち
栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査
第2回事業検討会(Web会議)

参加者名簿

(敬称略)

所属	役職名	氏名
水産庁 増殖推進部 漁場資源課	課長補佐	向江 智江
水産庁 増殖推進部 漁場資源課	資源技術専門官	藤岡 ゆかり
瀬戸内海漁業調整事務所	指導課長	浦 隆文
瀬戸内海漁業調整事務所	指導係長	山本 道代
水産庁 増殖推進部 研究指導課	研究管理官	鈴木 伸明
水産庁 増殖推進部 研究指導課	水産研究専門官	清水 勇吾
京都大学	名誉教授	藤原 建紀
香川大学農学部	教授	多田 邦尚
香川大学農学部	教授	一見 和彦
香川大学農学部	准教授	山口 一岩
愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	教授・センター長	郭新 宇
愛媛大学 沿岸環境科学研究センター	講師	吉江 直樹
兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター	研究主幹	原田 和弘
兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター	主席研究員	宮原 一隆
兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター	主席研究員	岡本 繁好
香川県水産試験場	主席研究員	山本 昌幸
香川県水産試験場	技師	西岡 俊洋
和歌山県水産試験場 増養殖部	主任研究員	諏訪 剛
水産技術協会	シニア技術専門員	福田 雅明
水産技術協会	技術専門員	畑 恭子
水産研究・教育機構 水産技術研究所	廿日市拠点長	吉田 勝俊
水産研究・教育機構 水産技術研究所 企画調整部門	研究開発コーディネーター	児玉 真史
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	副部長	樽谷 賢治
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	主幹研究員	浜口 昌巳
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	漁場生産力グループ長	鬼塚 剛
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	主幹研究員	阿保 勝之
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	主幹研究員	吉田 吾郎
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	主任研究員	島袋 寛盛
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	主任研究員	松原 賢
水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部	研究員	首藤 宏幸
水産研究・教育機構 水産技術研究所 生産技術部	主任研究員	米田 道夫
水産研究・教育機構 水産技術研究所 生産技術部	研究員	中村 政裕
水産研究・教育機構 水産資源研究所 海洋環境部	主幹研究員	田所 和明
水産研究・教育機構 水産資源研究所 海洋環境部	主任研究員	岡崎 雄二
水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 浮魚資源部	主幹研究員	河野 侑昌
水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 浮魚資源部	主任研究員	高橋 正知
水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産資源研究センター 社会・生態系システム部	沿岸生態系グループ長	堀 正和

令和２年度漁場環境改善推進事業のうち
栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発
「(１) 栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査」報告書

発行	令和３年３月
発行者	国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産技術研究所 〒739-0452 広島県廿日市市丸石 2-17-5
編集責任者	阿保勝之・松原 賢